

第八回総会 開かれる

去る六月二十八日(木)、セントポールテニスクラブ第八回総会が、多数のOB・OGの方々のご出席をいただき、第一学食にて開催されました。会計報告、予算、事業計画など慎重な審議がおこなわれました。小西会長、原田理事長より力強いご挨拶をいただき、平成十五年度のクラブ運営がスタートされました。総会の後は現役学生幹部も交え、和やかな雰囲気の中で懇親会が開かれました。以下に総会の決定事項をご報告いたします。

会長挨拶

S37年卒 小西 一三

セントポールテニスクラブ会員の皆様お変わりなく元気にお過ごしのことと存じます。

私が会長に就任して1年が経ちました。就任時に会の発展のためにOB・OGの親睦会及び様々なアイデアを出しイベントを開催したいと夢を語りましたが、なかなか思う様に行動・実行が進まなく大変申し訳なく思っています。

過去(名古屋で3回、京都で1回)にはOBの皆様による東西対抗テニス大会が4回開催され、多くの会員が参加し旧交を温めていた時代がありました。立教大学体育会庭



球部からセントポールテニスクラブに名称変更後合同親睦会がありませんので来年は是非OB・OG合同の東西対抗テニス大会を実現・実行したいと願っています。

さて、大学のテニス部は男子が4部で全勝したものの入替戦で実力が発揮出来ず敗退4部。女子は3部に降格という現状です。

近年学校側の体育会に対する理解も深まり、男女共優秀な人材がテニス部に入部する様になって部員数も増え、藤井男子部監督、鈴木女子部監督両名の指導に拍車がかかり、一段と熱がこもって全体のレベルがあがって来た様に思います。

敗退した時の悪い点を反省し、来年は各人が原点に戻り、基本技術を身に付け新しい気持ちで来るリーグ戦に備え頑張ってください。

OB・OG会員皆様には益々ご健康で日々過ごしていただく事を祈念し、学生諸君に今年以上の愛情・応援を心からお願い致します。

理事長挨拶

S54年卒 原田 豊

セントポールテニスクラブ事務方運営の責任者として二年目を向かえました。本年度も多くの期待と夢を持って現役の活動を側面よりサポートしてまいりました。同時にOB・OGの皆様に対しいまの運営に益々のご理解とご協力を賜りますようお願い致しますが努力してまいりました。

平成15年度役員

氏名	卒年
会長 小西一三	37
副会長 川上浩子	40
副会長 出口誠之	42
副会長 林田千史	43
副会長 浅見豊	49
顧問 淡路剛久	
顧問 舟田正之	
理事長 原田豊	54
副理事長 秋元英晴	54
副理事長 吉川裕子	52
理事 倉光哲	42
理事 原田正明	42
理事 占野正靖	44
理事 内原康雄	48
理事 鈴木典宏	52
理事 金原厚子	55
理事 山下節子	55
理事 伊藤久幸	57
理事 坂井裕美	57
理事 井上勇人	58
理事 藤孝信	59
理事 永良子	60
監事 八木下紗絵	36
監事 梅田憲司	50
コーチ 山田昇	H2
男子部担当 阿部宏	H9 (新任)
男子部担当 村木祐介	H10
男子部担当 大熊隆史	H10
女子部担当 高山和則	63
女子部担当 高清隆一郎	63
女子部担当 金谷美幸	H12

テニス部 部長 副部長

女子部 監督 総監督

総務 会計 会計 男子部 監督

(新任)

平成15年度事業計画書

(自平成15年4月1日～至平成16年3月31日)

日付	内容
5月21日	第1回理事会(セントポール会館)
6月26日	第8回定期総会(第一学食)
7月	関東高校選手勧誘視察(群馬)
7月	第2回理事会(セントポール会館)
8月	インターハイ選手勧誘視察(長崎)
8月	リーグ戦激励会
10月	第3回理事会
11月23日	小・中・高・大 合同練習会
12月7日	All Rikkyo Tennis 発行
12月7日	納会(池袋キャンパス・第一学食)
2月	第4回理事会

平成15年度会計予算

(自平成15年4月1日～至平成16年3月31日)

科目	予算額	摘要
1. 年会費	2,700,000	10,000×221 7,000×70
2. 総会 納会 会費収入	700,000	総会 納会 激励会出席者会費
3. 雑収入	300,000	寄付金 広告費 受取利息等
当期収入合計	3,700,000	
前期より繰越金	454,724	
収入合計	4,154,724	

科目	予算額	摘要
1. 現役強化費	1,850,000	
①ボール代	(300,000)	男子部 150,000 女子部 150,000
②合宿援助	(500,000)	男子部 300,000 女子部 200,000
③コート維持費	(50,000)	砂代他
④勧誘費	(500,000)	インターハイ(長崎)視察等
⑤その他	(500,000)	監督コーチ交通費、コートレンタル費等
2. 会合費	1,000,000	総会 納会 激励会費
3. 通信費	400,000	案内通知等
4. ART作成費	100,000	
5. 諸会費	40,000	OBクラブ 合同練習会等
6. 雑費	100,000	コピー代 封筒代 文具代等
7. 手数料	50,000	年会費自動振替手数料 振込料
8. 積立金	200,000	コート付帯設備準備金
9. 予備費	200,000	その他不足分補助 慶弔費
当期支出合計	3,940,000	
次年度繰越金	214,724	

平成14年度事業報告書

(自平成14年4月1日～至平成15年3月31日)

日付	内容
5月23日	第1回理事会(セントポール会館)
6月15日	第7回定期総会(松本楼)
6月8日	関東高校選手勧誘視察(山梨)
7月11日	第2回理事会(セントポール会館)
8月2日	インターハイ選手勧誘視察(茨城)
8月18日	リーグ戦激励会
9月19日	第3回理事会(セントポール会館)
11月23日	小・中・高・大 合同練習会
12月1日	All Rikkyo Tennis 発行
12月1日	納会(池袋キャンパス・第一学食)
12月25日	名簿発行
2月19日	第4回理事会(セントポール会館)

平成14年度決算報告書

(自平成14年4月1日～至平成15年3月31日)

科目	予算額	決算額	摘要
1. 年会費	2,700,000	2,375,000	10,000×192 7,000×65
2. 総会 納会 会費収入	800,000	630,000	総会 納会 激励会
3. 雑収入	300,000	717,713	名簿、アート広告費、激励会寄付金等
当期収入合計	3,800,000	3,722,713	
前期より繰越金	182,185	182,185	
収入合計	3,982,185	3,904,898	

科目	予算額	決算額	摘要
1. 現役強化費	1,550,000	1,470,544	
①ボール代	(300,000)	(282,240)	男子部 169,344 女子部 112,896
②合宿援助	(500,000)	(450,000)	男子部 350,000 女子部 100,000
③コート維持費	(50,000)	(15,330)	砂代
④勧誘費	(400,000)	(242,127)	インターハイ視察等
⑤その他	(300,000)	(480,847)	コートレンタル費、監督費等
2. 会合費	1,000,000	888,072	総会・納会・激励会費用等
3. 通信費	400,000	553,804	案内通知等、名簿発送費等
4. ART作成費	300,000	290,000	ART、名簿作成費
5. 諸会費	30,000	39,000	OBクラブ分担金等
6. 雑費	50,000	102,629	コピー代 封筒代 文具代等
7. 手数料	60,000	53,025	自動振替手数料 振込料
8. 積立金	200,000	0	コート付帯設備準備金
9. 予備費	100,000	53,100	慶弔費、学習院100周年記念他
当期支出合計	3,690,000	3,450,174	
次年度繰越金	292,185	454,724	

科目	金額	摘要
流動資産		
現金	74,356	手許有高
普通預金	380,368	みずほ銀行池袋西口支店
小計	454,724	
固定資産		
定期預金	400,833	みずほ銀行池袋西口支店
資産合計	855,557	

新幹部紹介

男子主将
嶋津 亮



本年度、主将を務めさせて頂くことになりました。理学部化学科三年嶋津亮です。宜しくお願いいたします。

8人の新入生を迎え、誰もが三部に昇格出来ると思われていた今年も、結果は入替え戦4-1-5という立教は敗れた。悔しくて、我慢しても涙をおさえ切れませんでした。「もう二度とこんな涙は流したくない」と、部員全員が思ったことでした。あの日、十月五日は決して忘れる事の出来ない日となりました。あの日、何を思い出せば、やるべきことに関して自ずと答えが出てくるものであります。

私にとって最後の年、絶対に勝って終わりたいという思いが胸に強く込み上げてまいりました。入部した時から同期がいらない私ではあります。幹部として自覚を持って頑張ってくれて二年生と、向上心剥き出しで一年生は、私にとってどこに存在してあります。彼らと共に今年こそは必ず三部に昇格し、悔いの残らない一年間にしたいたいと思っております。また三部に昇格し結果を残す事が日頃からお世話になってる様々なOB、OGの方々に対しての一番の恩返しであると思います。一杯頑張りたくらいと思いついて、何かと至らない部分も御座います。今後とも宜しくお願いいたします。

女子主将
杉田 美奈子



本年度、主将を務めさせて頂くことになりました。理学部化学科三年杉田美奈子です。よろしくお祈り致します。

本年度のリーグ戦では、慶応大学との入替戦に敗れ、三部降格という残念な結果に終わり、部員一同非常に悔しい思いをしました。また、今年もリーグ戦の主力であった四年生が抜け、正直、戦力はかなりダウンしています。しかし、今年味わった悔しい思いを強く持ち続け、チーム一丸となって来年のリーグ戦に臨み、二部昇格を果たしたいと思っております。そのために、主将として自分がチームのために何が出来るのかを常に考え、部を盛り上げ、団結したチーム作りをしていきたいと思っております。

早いもので、現役生活最後の年となりました。幹部としてだけでなく、プレーヤーとしても納得のいく一年を送れるよう、日々向上心を持って練習に励もうと思っております。

監督、コーチの方々に始め、諸先輩方には今後とも御指導の程、よろしくお祈りいたします。

男子主務
野村 陽介



本年度、主務を務めさせて頂きます。社会学部社会学科二年の野村陽介です。どうぞ宜しくお願い致します。本年度のリーグ戦は、4部全勝優勝を成し遂げ入れ替え戦を迎えました。結果としては惜敗し、悔しい思いをしました。それは昇格を目指して逃してしまいましたが、悔しさもあり、自分自身に貢献できたのではないかと自問してきました。

本年度こそは、そのような悔しい思いをしないためにも、周りも自分も納得のできる答えを出したいと思っております。そして、まだ二年生ですが、主務という大役を任せられました。今は、不安と焦りを感じてばかりです。しかし、一所懸命頑張りますので、至らない点も多々あるかと思いますが御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。また、橘さんには一年の時から技術は勿論のこと、精神的にも大変御世話になり、中野さんにも一年の時等相談ののって頂いたりして大変御世話になりました。橘さんと中野さんの作ったこのチームをより強く、結束のあるチームへと成長させるために尽力したいと思います。

最後にになりましたが、本年度の四部優勝、日々の練習はOB・OGの方々の支援のおかげであり、大変感謝しております。では、本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

女子主務
黒崎 由紀子



本年度主務を務めさせて頂くことになりました。経済学部経済学科三年の黒崎由紀子です。宜しくお願い致します。

私がテニス部に入学してから早くも三年が経とうとしています。今年のリーグ戦では残念ながら三部に降格してしまいました。私にとってはこれが二度目の降格でした。来年こそは昇格の喜びを味わうべく練習に励んで参ります。そして日頃から現役を応援してください。

本年度こそは、そのような悔しい思いをしないためにも、周りも自分も納得のできる答えを出したいと思っております。そして、まだ二年生ですが、主務という大役を任せられました。今は、不安と焦りを感じてばかりです。しかし、一所懸命頑張りますので、至らない点も多々あるかと思いますが御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。また、橘さんには一年の時から技術は勿論のこと、精神的にも大変御世話になり、中野さんにも一年の時等相談ののって頂いたりして大変御世話になりました。橘さんと中野さんの作ったこのチームをより強く、結束のあるチームへと成長させるために尽力したいと思います。

最後にになりましたが、本年度の四部優勝、日々の練習はOB・OGの方々の支援のおかげであり、大変感謝しております。では、本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

現役紹介

男子副将
中山 裕貴



本年度副将を務めさせて頂くことになりました。コミュニケーション福祉学部コミュニケーション福祉学科2年の中山裕貴です。宜しくお願い致します。

私がこの体育会テニス部に入学したのはちょうど一年前のことでした。当時サークルに所属していた私は、もっと真剣にテニスをしたいと思いをたたきまわした。入部当初は厳しい練習、そして仕事にともない辞めたいと思う時もありました。しかしここでやめたら、これから先息づまったときまた逃げ出してしまおうと思いついてしましました。また、前主将の橘さんのように厚い信頼感を得られるように日々は決戦のつもりで一日一日を大切に、少しでも部に貢献できればと考えています。そして誰かが信じた三部昇格を目の前に入れ替え戦で破れた悔しさを胸に来年こそは昇格したいと考えています。そのために自分自身出来ることをやり遂げ、最高のチームでリーグ戦を迎えられるように努力していくつもりです。また、日ごろから支えて頂いているOBの方に感謝の気持ちを忘れず、今年もよろしくお祈りいたします。

男子副務
山田 英一



本年度、副務を務めさせて頂くことになりました。観光学部観光学科2年山田英一です。宜しくお願い致します。

さて、昨年度のリーグ戦では4部全勝、昇格まであと1勝となりながらも、心ならずも涙を流す結果になってしまいました。ですが、そこに全てがありました。涙が僕らの力不足を痛感させてくれたのです。それ以来、テニスをすることが僕にとって素晴らしいものとなりました。今年入部して来た一年生の皆様も、途中から入部してきた私を快く迎え入れてくれて、本当に嬉しかったです。ありがとうございます。また、今年入部して来た一年生の皆様も、途中から入部してきた私を快く迎え入れてくれて、本当に嬉しかったです。ありがとうございます。また、今年入部して来た一年生の皆様も、途中から入部してきた私を快く迎え入れてくれて、本当に嬉しかったです。ありがとうございます。

マネージャー
栗原 宏美



男子硬式テニス部のマネージャーを務めさせて頂いております。日本文学二年栗原宏美です。どうぞよろしくお祈り致します。

早いもので、私が入部してから一年半が経とうとしています。昨年一度休部してしまい、今年度の春に戻ってきた私を温かく受けとめてくれた橘さんを初めとする諸先輩方、同期の皆さんには本当に感謝しております。ありがとうございます。また、今年入部して来た一年生の皆様も、途中から入部してきた私を快く迎え入れてくれて、本当に嬉しかったです。ありがとうございます。

女子副将
鈴木 郁絵

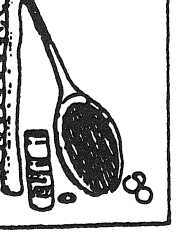
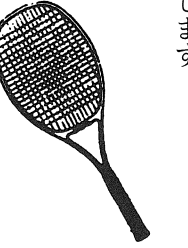


本年度、副将を務めさせて頂くことになりました。文学部ドイツ文学科三年の鈴木郁絵です。宜しくお願い致します。

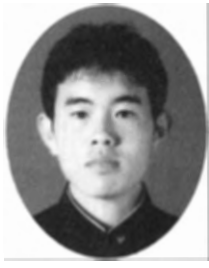
二年半前、私がこの部に入部するきっかけとなったのが、一部リーグ・入れ替え戦(対東海大)を見学させて頂いたときのことでした。結果は残念ながら二部降格でしたが、私にとってあの日見た先輩方の魅力的なプレーや緊迫感のあるリーグ戦の雰囲気はとて心に残るものでした。その姿に一步でも近づこうと練習に励んでいます。

今年のリーグ戦で、部の一員として味わった三部降格は非常に悔しいものでした。また、いつも応援してください。OG・OBの方々にも悲しい思いをさせてしまい、申し訳なく思っています。今年のリーグ戦で味わった悔しさは、来年のリーグで晴らしたいと思っております。

今年レギュラーとして試合に出られませんが、一人一歩努力をし、現レギュラーにとって脅威の存在となるよう、下から押し上げ、部全体の向上に繋がりたいと思っております。今年度も宜しくお願い致します。



法学部政治学科
一年 五味 晃一



僕がテニスを始めた理由はバットよりもラケットのほうが球を当てるのが簡単だったからだ。小学生の頃、僕は野球をしてきたのだが長距離バスターだったわけでもなく、打ったとしてもシングルヒットという特に目立ったところがない普通の野球少年だった。そんな時友達から近くのテニススクールに週一回行ってみたいかと誘いをうけた。僕はその時までテニスというスポーツの名前すら知らなかった。しかし、いざラケットを握ってボールを打ってみると今までバットという細い棒に当てる練習をしてきた自分にとっては凄く簡単に思えた。また野球の時に身に付いていた守備の体勢やフットワークもテニスに通ずるところがあり、このスポーツのとりこになるまでにはそれほど時間はかからなかった。それから約八年が過ぎようとしていくが、今では生活の一部となり、なくてはならないものとなっている。

法学部国際比較法学科
一年 高橋 泰洋



法学部国際・比較法学科一年の高橋泰洋です。私は小さな頃からテニスを始め、様々な経験をしてきました。特に高校は親元を離れ、テニスをするために三年間費やしました。全国選抜インターハイ、国体などの大会に出場し、それにより多くの人達と出会い、話しをする機会がありました。それがきっかけで自分自身がどういう人間になりたいか考えるようになり、ただ運動ができる人間ではなく、ただ勉強ができる人間でもない。特定の分野にとらわれず、広く賢い人間になりたいと思えました。ある高校の先生に、多くの事を学ぶとテニスのプレーにも変化がでてくると言われたことがありました。実際に、勉強または他の事が充実していると、テニスにも勉強してきます。時代に勉強に、バイトに生活に、何においても一生懸命がんばることが相乗効果になり、一つ一つの素晴らしいものになるようながんばっていきたいです。また、これから多くの人達と出会い、話を聞くことで自分の考え方、視野を広げ、四年間の大学生活で大きく豊かな人間になりたいです。

経済学部経営学科
一年 都筑 亮太



僕がテニスを始めたのは小学五年の秋だ。初めは親の勧めでやっていただけというところもあり、ただ何となくという感じであったが、中学三年になり、自分から本心に強くなりたいと思った。結果、最後の群馬県中学生大会で初入賞にして準優勝という成績を残すことが出来た。そこから僕の快進撃は始まった。「やりやあ出来んじゃん」と思った僕は、もっと上を目指すべく高校へ入学してからも日々努力を重ねた。どんな上達するテニスかと、とても面白いと感じ、念願のインターハイ、国体にも出場し、高校生活最後には群馬県テニスラキング1位を獲得するまでに至った。

文学部キリスト教学科
一年 長尾 良麻



文学部キリスト教学科一年の長尾です。よろしくお願ひします。僕がテニスを始めたのは高校の時です。高校で友達にテニス部に入らないかと誘われて、その時特に入りたい部活もなかったのですが、興味もなかったのでもう一度、テニス部に入ってみようと思った。テニス部に入り、テニスをすることを知らず、そのままテニスをのめりこんでしまいました。僕は全くの素人だったので番手こそ低かったですが、3年間一生懸命練習しました。大学へ行ってもテニスは続けるつもりでしたが、まさか部活に入るとは思っていなかった。大学の部活は高校の部活とは全く違い、変に形式にこだわっていると思えました。練習内容的には高校の時と差はありますが、上下関係や仕事面でははるかに厳しく、面でははるかに厳しく、何度か辞めたいと思いましたが、そんな時は同輩を支えてくれたのは同輩達です。今自分が部活を続けられているのは間違いない。同じ一年生のおかひです。部活に入っただけでこの大事な仲間が一生の宝物になると思えます。また、その仲間はライバルでもあり、互いに互いを高めあっている良い関係です。テニスを通じて知り合えた仲間や経験は、他では得ることのできないものだと思えます。まだまだ自分は人間として未熟ですが、テニスを通じて成長したいです。

観光学部観光学科
一年 マネージャー 岡本 佳奈



私がテニスと出会ったのは、中学生の時です。友達に誘われ入ったテニス部は、コート数が少なく、満足のいく練習はできませんでしたが、引退試合で、部活の規律や上下関係、六年間共に過ごした仲間の大切さを知り、大学に入っても、しっかりとした体育会に入りたいたいと思い、テニス部に入部しました。マネージャーとして入部したのは、今までプレーヤーとしてテニスを見てきた分、今度はサポートする側としてテニスに関わってみたいと思ったからです。最初はマネージャーの仕事が明確でなく、自分が何をすべきかわからない状態が続いたため、とまどいが大きく、仕事面で悩むことが多々ありました。今、仕事が完全に確立されたわけではありませんが、マネージャー三人で少しでも部員の負担を減らし、役に立てるようにならなうにがんばっていきたくります。また、合宿やキャンプなどを通じ、仲間になれた同期に恵まれたことを本当に嬉しく思っています。今後、様々な面で悩みや不安を抱くかもしれませんが、四年後、この体育会テニス部のマネージャーを続けてよかったと思えるように努力したいと思えます。

観光学部観光学科
一年 マネージャー 向坊真理子



私は中学、高校とバスケット部に所属し、仲間の大切さ、難しさを学びました。そして人間関係が希薄になると言われる大学でも、例え人数が少なくても絆のしっかりした部活で大学生活を送りたいと思いテニス部に入りました。私はこの半年で多くの事を学びました。その事が最も実感できたのがリーグでした。今年に残念ながらあと一歩のところまで三部昇格を逃してしまいました。あの時、悔しいと思った気持ちは今でも忘れられません。何か一つの目標に向かってがんばることや、誰かのために悩んだり、怒ったりできるのが部活のいい所だと思えます。私がいかにOBの方々ははじめ、いつもマネージャーにまで気を配って下さった橋さん、仕事の面でまた先輩としていろいろな事を教えてくれた二・三年の先輩をしていろいろな面を私達をサポートしてくれました。同期のおかげだと思えます。来年のリーグでは今年、悔しいと思ったことをバネにし三部昇格したいです。そして最終的に、四年になって二部昇格を目指します。私もマネージャーとして、もっと様々な面でのサポートをがんばりたいです。そして来年こそは三部昇格で喜びの涙を流したいです。

コミュニケーション福祉学科
一年 涌井 美雪

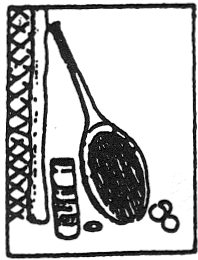


私は中学生時代軟式テニス部に所属していましたが、その後高校では、中学生のときに入ろうか最後まで迷ったバレーボール部に入り、テニスとは無縁の生活を送りました。そして、大学ではテニス部がやりたいと思い、体育会ですっきりやっていくのか不安を抱えつつも、テニス部への入部を決めました。リーグ戦を終えた今、春から今までを振り返ってみると、本当にあっという間でした。入部したばかりの頃は、テニスがとても新鮮で、日々打てるようになることがとても楽しかったことを覚えておきます。そして夏休みに入ると、リーグ練習が始まり、朝早くから富士見グラウンドへ通う生活が始まりました。この頃からリーグ戦が終わるまでの二ヶ月間は、とても大変でしたが、みんなの思いを一つにして大きなことを乗り越えたことで、何とも言えない感動を味わうことが出来ました。これからは、向上心を持ち続け、テニスの技術を磨いていくことはもちろん、テニスを通じて出会えた先輩や仲間と、強くて楽しいテニスができる部活を作っていきたいです。

理学部化学学科
一年 福田 恭子



私は高校に入学して、学校の部活動に入りテニスを始めました。そして、今年でテニス歴は4年目になります。立教のテニス部に入部した初期の頃は、新たに知ることが多く、それだけで精一杯になってしまいましたが、テニスには驚きや興奮を掴むことと覚えることで大変でした。そんな中で、春・夏・秋の個人戦に加え、リーグという団体戦を経験しました。リーグは個人戦とは何もかもが違い、試合に出させて頂き、1球の重み、本当の緊張、試合に勝つ事の大変さというものを体験することができたような気がします。それと共に、OGやOBの方々に見守られ、部員全員で戦ったことでリーグがどれだけ大切かを知りました。そのためには、やはり日々の練習がとても重要なものであり、一日一日を無駄にはできないと実感させられました。今年の結果は、3部降格という残念な結果に終わってしまいましたが、悔しい思いをしましたが、この悔しさをばねに来年のリーグに向けてこれからは頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



中学・高校通信

池袋中・高便り

高校顧問 西村博文
中学顧問 重原康秀

学校も変革の三年間が過ぎ、三月には高校庭球部初の卒業生がテニスコートから巣立って行きました。部の礎となるものを創ってくれた十二名の部員に感謝しています。

さて四年目に入った今年には中学生49名、高校生40名で活動しました。

中学校は二年振りに団体戦全国大会出場を果たし、出場回数が三十回を越えて表彰を受けました。個人戦でも単・複ともに出場しました。また、秋の新人団体戦は、都で準優勝、関東でベスト4となり若いチームの意気は上がっています。

高校は都団体戦でベスト4入りのチャンスがありました。惜しいところでベスト8にとどまりました。まだまだ上位校との差を縮めなければなりません。個人戦は本選入り単5名・複3組、新人戦単2名・複1組でした。選抜大会につながる都団体戦は第六位でした。コートマナーや審判はひげをとらないところまで来ていますが、今後は闘うチーム、闘う選手として、どれだけたくましくなれるかが鍵です。平日のコートが三面に限られるので、中高交互に使用せざるを得ません。このハンディキャップを、やる気と工夫でバネにしていこうとしています。OBの御支援を願います。

新座中・高便り

顧問 湯川 宣雄

今、基盤造りの時であると思う。かつての立教テニスの隆盛を思うと、昨今の戦績はさみしい。しかし、着実に「力」をつけつつある。

その一つは、部員数が多いこと、高校・中学それぞれ約一〇〇名、計二〇〇名の大世帯である。部員数が多いことはマイナス面もあるが、将来的にはプラス面が多い。事実、今年の高松三年生の中に、中学時代は野球をやっていた選手が、急速に伸び、インターハイも一歩のところまでいった。

二つ目は、コーチング組織が確立したことである。OBの小井上滋章氏を中心にアシスタントコーチ三名、それに体育科の非常勤講師である久松卓氏にも加わっていただき、技術面だけではなく体力・精神力の強化が着実に進んでいる。

三つ目は、環境がかなり整ったことである。今年八月末に六面すべてが砂入り人工芝のコートに改修されたこと。また、不完全ではあるが照明設備が付き、秋から冬期の練習時間が延長されたことは大きな収穫である。

十一月の関東新人テニス大会(中学)では、池袋が第四シード、新座が第五シードというところで、準々決勝で対戦した。結果は接戦の末、池袋の3対2の勝利に終わった。高校の方も十月末のSPFの時に池袋・新座の交流試合を行い、友好・親善を深めた。両中学、高校共着実に力をつけつつある。関東大会、いや全国大会決勝で両校が対戦する日がくるのを願う。

OB・OGの声

S 53年卒 井筒 正美

東京生まれで、東京育ちの私が、大学のテニス部で知りあった今の主人と結婚して、長崎に住むということ、皆に心配をおかけしましたが、なんとか、幸せにやっています！やはり、当初は、友達も親類も一人もいないのですから、想像以上に寂しく、何度も帰ってしまおうと思いましたが、でも、下の娘が幼稚園に行きだし、テニスを再開してから、立教テニス部時代の再来で、毎日が楽しくて楽しくて！夢中でテニスコートに通い、練習し、おかげで、朝日レディースの全国大会に県代表で、3回も出場できました。いっしょか友達も多勢できて、毎日、バカをいいあいながら、楽しくテニスしています。やはり、テニスを通じた友達っていいもんですね。大学時代の友と同じで、一生、つきあえそうです。第2の青春、現在進行中です！ただ、おなかのまわりの脂肪が気になる青春ですが。

S 55年卒 松村 隆司

11月6日、いつものように遅い夕食をとっていると、聞きなれたカーペインターズのメロディーが、オッ！デンワデンワ「もしもし松村です。オーオー大塚、御無沙汰」同期の大塚だった。話しを聞けば、一年下の小川諭君が死去したと言う、驚きを覚えながら、次の日御通夜へ行きました。話しを聞けば、仕事が忙しく病院へも行けず病が悪化してしまっただけで、残念でなりません。その時、久しぶりに学生時代のテニス仲間に出会ったのが出来た当時、小川君と行った合宿(遠州汎布一静岡)の懐かしい話したりリーグ戦の話をしていました。

仲間に会えて、いろいろ考えると、毎日仕事に追われ、近くにいても昔の仲間に出会うことが無い自分がいます。運動もなくなり、ましてやテニスコートにどこも10年以上上立った記憶も無い中年おじさんになってしまった。何かこの機会に今の自分をリフレッシュしたいものです。

小川・本当に良い後輩だったよな・・・小川諭君の御冥福をお祈り致します。



二十年ひとむかじ

S 60年卒 永田 良子

ちまたでは東京デイズニールランドが開園二十周年ということにぎわっているそうです。二十年前にテニス部の仲間と行ったときのことをなつかしく思い出しました。スベリースマウンテンに乗ったり、花火を見て歓声を上げたりと楽しいひとときをみんなと過ごすことができませんでした。あれから早いもので二十年・・・十一月九日にOGの集まりがありました。そこで二十年前のように、山下さんや黒坂さんや坂井さんとテニスをやりました。気持ちちは二十年前とそれほど変わらないうちで、久しぶりに学生時代のテニス仲間に出会ったのが出来た当時、小川君と行った合宿(遠州汎布一静岡)の懐かしい話したりリーグ戦の話をしていました。

仲間に会えて、いろいろ考えると、毎日仕事に追われ、近くにいても昔の仲間に出会うことが無い自分がいます。運動もなくなり、ましてやテニスコートにどこも10年以上上立った記憶も無い中年おじさんになってしまった。何かこの機会に今の自分をリフレッシュしたいものです。

小川・本当に良い後輩だったよな・・・小川諭君の御冥福をお祈り致します。

平一年卒 武市 広治

皆様、ご無沙汰しております。OBの武市広治です。まず現役の皆様、今年のリーグ戦お疲れ様でした。男女とも目標の達成とはなりませんでしたが、日々のご報告や終了後のお手紙で健闘、ご活躍は手に取るように伝わりました。それぞれの目標に向かって突き進む皆様のニュースを聞き、私も輪の中に入りたくらいでした。今のチーム、環境、そして仲間感謝し、次のステップへ駆けつけてください。

さて私は、現役テニスの仕事をしておりますが、年間4、000人の選手を見てくる視点から、来年度のリーグ戦に向けてのアドバイスのためにこの場をお借りします。テニスは「人」を相手にするスポーツです。故にどの様な人と常に接することが出来るか、練習や試合の場を数多く持つことが出来るか、により皆様のプレーの質が変わります。つまり自分が定めた「目標」よりも常に質の高い環境に身を置くことにより結果は良くなる可能性が高まるということです。関東学生を狙うならインカレ選手と、インカレを狙うなら全日本選手と出来るだけ多く接し、スキルアップをしてください。とにかく自分分の目標を常に上に保つよう心がけてください。

また、春関、夏関、リーグ戦、新進の4大会では「実践」が少なすぎると思います。草トーナメントでもオープン大会でも親善試合でも、とにかく来年に向けマッチ数にこだわってみてください。これは現役時代、鷲田先輩から教わり、今になり確信しました。そして自分で決めた目標を達成するために緻密に予定を立て、行動に結び付けてください。私はこれを、全日本ベテランのタイトルを取られた後の小西先輩のコメントで学びました。現役の皆様、一日中、無心でボールを追いかけられるのは今だけなので、「ここぞ」というショットが出るのも日々の積み重ねが当たること(藤井先輩のお言葉)です。テニスも仕事も、ひいては人生も「小さな目標」の先に「大きな目標」、その延長に「夢」があるのが理想だと思います。来年の入れ替え戦、期待しています。

平一年卒 武市 広治

平14年卒 平原 二三子

私が立教大学体育会テニス部の一人としてコートの上で立っていた頃から、もう二年が過ぎてしまいました。本日に月日が経つのは早いものです。しかしこの二年間で、立教大学テニス部は様々な壁にぶちあたったことだと思います。特に、現役の皆さんの前に立ちふさがった大きな壁は、昇格の難しさや降格の現実という壁ではなかったでしょうか。私自身も降格という苦い経験をした一人です。だからこそ現役の皆さんが戦っている姿を見て、出来ることなら自分もコートの上で立ってみたいと思います。しかし、それはほんなに願っても叶

うことのない現実なのです。この現実でコートの上に立てるのは現役の皆さん以外にいないのです。コートの上に立つ以上苦しい事の連続だと思います。しかしそこから決して逃げないで下さい。自分を、自分達を苦しむ場に追い込んで下さい。追い込めば追い込んだだけ必ず良い結果として戻ってきます。そして、勝利という二文字を自分達で手にすることが出来るはずですよ。

現役の皆様、テニスをしている楽しいですか？正直言って、私自身あまり楽しくありませんでした。でも今甦ってくる思いは、なぜか楽しい事ばかりです。大学生活四年間を立教大学テニス部で過ごせて本当に良かったと思います。今、自分達がそこにいることを幸せに感じ、最後に「立教大学テニス部にいて良かった」と思えるよう頑張ってください。応援しています。

去る八月二三日(土)池袋・カルネステーションにてリーグ戦激励会が、多数のOB・OGのご参加をいただき開催されました。今回は焼肉をほうばりながら現役との楽しい会食となりました。また、激励会開催に対し多くのOB・OGの皆様より過分なるご寄付をいただきました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

リーグ戦激励会

去る八月二三日(土)池袋・カルネステーションにてリーグ戦激励会が、多数のOB・OGのご参加をいただき開催されました。今回は焼肉をほうばりながら現役との楽しい会食となりました。また、激励会開催に対し多くのOB・OGの皆様より過分なるご寄付をいただきました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

平成15年度年会費ありがとうございました

(平成15年11月30日現在)

卒年 OB ご氏名 (敬称略)

- 26 迫 哲夫
- 27 岸本俊二
- 30 向井昌男
- 31 森 恵
- 32 永山勝三 辻本正司 宮岸 武
鈴木有恒 改田 雄
- 33 川上 岳 藤林勇雄 矢部治道
飯島一雄
- 34 瓦林聖児 小田原正直 飯郷七郎
井上隆二 副島光彦
- 35 仲井一浩
- 36 栢植銃次 山中博司 日根野一郎
- 37 鎗田秀雄 阿部直之 栗田進伍
河野貞夫
小西一三
- 38 合瀬武久 近藤紘二 田口雅一
橋本 宏 下村直史 広瀬 武
西宇明男 倉光 純 西山憲一
- 39 高橋道男 石黒 潔 玉置秀雄
伊藤正信 唐澤靖治
- 40 井上詔夫 町田昭雄 平井克忠
広瀬省蔵 田口壮治 末藤朋昭
- 41 川口隆史 木口久仁彦
- 42 倉光 哲 濱野公哉 出口誠之
原田正明 豊田資朗 昇 文彦
- 43 沢松忠幸 若杉正明 佐藤俊彦
三浦允行
- 44 占野靖宗 須田健治 志田光顕
小長井 彰
- 45 宇野 治 五十嵐哲男 上野城太郎
佐藤雄三
- 46 日高啓吾 安田清志 笠原賢次郎
- 47 加藤雄一 安達幸男 若井新司
- 48 内原康雄 清水春海
- 49 浅見 豊 今井広幸 武藤憲二
鈴木徹雄
- 50 梅田憲司 井畑 清 立野公一
大里有二

卒年 OB ご氏名 (敬称略)

- 51 鈴木一広 佐藤信夫
- 52 鈴木 宏 石上富一
- 53 鷺田典之 井筒浩平 山下哲夫
- 54 鈴木康正 秋元英晴 岩立文雄
加倉井 理 原田 豊 角野俊平
久保勝延 渡辺 薫
- 55 松村隆司 大塚直人 金原 厚
- 56 谷口秀治 竹石敬之 小川 諭
岸本 誠
- 57 伊藤久幸 坂井邦夫 高橋宏幸
田辺文啓 平山 元
- 58 庄野俊夫 井上勇人 染谷孝幸
田淵浩史 竹下喜六 簀 栄一郎
大井洋隆
- 59 阿部弘行
- 60 笠原康司 高橋守種 横山浩 藤原誠之
- 61 大岡史直 佐藤昭一 石川 順
清宗一男
- 62 柴原公博 折田浩介
- 63 新谷守夫 鹿浜哲也 高山和則
上杉 佐 清 隆一郎
- 平1 武市広治 中島 浩 青山貴志
2 東樹秀明 山田 昇 昆野 敦
田中周作 渡辺正和 篠崎亨史
小島 敏正
木村達彦
- 3 戸田雅道 丹司 均 柳内 崇
- 4 増田哲也 中尾 正芳
- 5 保泉 敦 深澤伯亮
- 6 後藤 孝 相見典祐 二塚圭介
- 7 太田 治 中川孝博 千葉泰久
小俣光司
- 8 山崎雄一郎
- 9 久々湊仁彦 神藤浩史
- 10 岡 利之 村木裕介 吉崎太二
- 11 高田健太郎 大野潤三
- 15 生島浩史

卒年 OG ご氏名 (敬称略)

- 36 八木下紗絵子 野田昌子
- 38 松平紀代
- 39 笹山俊子
- 40 深草宣子 菅原弘子 川上浩子
- 41 大原富佐子
- 42 杉澤小百合
- 43 林田千史
- 44 遊佐久美 石谷こずえ
- 45 木本美代子 長濱町子 古庄篤子
- 47 伊藤美枝子
- 50 飯塚圭子
- 52 吉川裕子
- 53 吉原典子 山下実果 小泉恵子
- 54 村田由子 堤 千賀子 山田優子
戸松まさみ
- 55 黒坂美也子 山下節子 福嶋由起
杉沢 薫
- 57 坂井裕美 大久保直子
- 59 山下真佐子 後藤悦子 池田由紀子
- 60 服部敦子 永田良子 藤原亜美
- 62 増村真理子
- 平1 加藤尚子 岡崎美穂
- 3 近藤和子 島田千代
- 4 岡本祐子
- 5 西村恵美
- 6 加藤明見
- 7 山崎江津子
- 10 星野薫
- 11 畠中暁子
- 13 井口郁子
- 15 廣瀬睦子

激励会ご寄付ありがとうございました

卒年 OB ご氏名 (敬称略)

- 本田耕治先生 伊藤謙哉先生
- 19 半谷裕
- 25 橋本幸雄 山本実
- 26 迫哲夫 飯塚繁
- 27 一条正志
- 32 宮岸武
- 34 副島光彦 瓦林聖児 井田悦夫
井上隆二
- 36 山中博司
- 37 小西一三 檜田秀雄
- 38 西山憲一 合瀬武久
- 40 田口壮治
- 42 原田正明

卒年 OB ご氏名 (敬称略)

- 45 宇野治
- 48 内原康雄
- 52 石上富一
- 55 金原厚
- 58 旗栄一郎
- 61 山田彰彦
- H3 柳内崇
- 8 山崎雄一郎
- 15 生島史浩

卒年 OG ご氏名 (敬称略)

- 36 野田昌子 八木下紗絵子
- 40 川上浩子
- 41 宮内肇子
- 42 杉沢小百合
- 43 片山康子
- 52 吉川裕子
- 53 小泉恵子
- 54 村田由子 戸松まさみ 堤千賀子
黒坂美也子
- 55 福嶋由起
- H7 藤井智子
- 10 星野薫
- 15 廣瀬睦子

訃報

- 田中能穂先輩 (昭和十五年卒)
平成十五年三月十二日
- 鈴木猛生先輩 (昭和十六年卒)
平成十五年三月十日
- 保沢洵先輩 (昭和十九年卒)
平成十四年九月
- 河野英彦先輩 (昭和二十五年卒)
平成十五年六月十七日
- 高田俊一先輩 (昭和二十八年卒)
平成十五年二月四日
- 小川諭先輩 (昭和五十六年卒)
平成十五年十一月六日
- 北田まゆみ先輩 (平成六年卒)
平成十五年五月六日